

令和5年度

事業報告書

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

はじめに

老人クラブの現在の課題は、会員の高齢化とクラブの解散です。

昨年を実施したアンケート調査でも、イベントには参加してくれるけれど、老人クラブの仕事は誰かがやってくれるだろうという他人任せの会員が多い。どうしたらそんな会員の自覚を促せるのか教えて欲しい。現代は70代でも働き続ける人が増えていて、“老人のクラブ”という言葉への抵抗感もあって、なかなか若い会員が入ってくれない。市町村の仕事だけでも手いっぱい、県老連の事業までは手が回らない、といった会長さん悩みが多く聞かれました。

どうすればもっと楽しくやりがいある老人クラブにできるのでしょうか。

ヒントは、市町村老連から送られてきた事業報告書の中に垣間見えるように感じました。詳しいことはわからないのですが、“社会参加活動”に関する報告では、地域でのスポーツイベントでの世代間交流など、楽しそうな様子が想像できました。昨年の役員研修会などでも、子供たちとの農業体験や、高齢者どうしの見守りと買い物やゴミ出しなど、市民との交流や支え合いの事例が報告されていました。クラブの中だけの活動ではなく、地域の市民や団体、世代を超えた交流を拓けることで、老人クラブへの理解と活動への協力者を拓げ、クラブ活動に新しい変化の生まれることが期待できそうです。

神奈川県の新しい「かながわ高齢者保健福祉計画」では、人と人、人と社会とのつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持って暮らしていくことのできる“地域共生社会”の実現をテーマに掲げています。自治会など、地域のコミュニティの力が弱くなっていることが指摘されていますが、老人クラブ活動は、地域を豊かにする一つの原動力になりうると信じ、あらためて私たちの活動を見直していければと思います。

各地域の活動事例は、別添の事業報告書(参考資料)をご参照ください。

## 目 次

### I 事業報告

『か』 かがやいて元気に生きる	
1. 健康活動に関する事業	1
2. 生きがい及び文化活動に関する事業	3
『な』 なかまを広げて仲良く生きる	
1. 高齢者相互支援事業に関する事業	3
2. 社会参加活動に関する事業	3
『が』 学習・参加で豊かに生きる	
1. 市町村老連の強化及び指導者の養成	4
2. 広報活動事業の実施	5
3. 調査及び情報の収集提供等	6
『わ』 わくわくニコニコ楽しく生きる	
1. 役員会の開催	6
2. 老人クラブの組織の強化	6
3. 各種大会、つどい等の開催及び参加	7
4. 連絡調整事業の実施	7
5. 財政基盤の確立及び募金運動の展開	8
専門部会による活動	9
魅力あふれるゆめクラブ神奈川再生特別委員会	9
令和5年度新規・重点事業への取り組み	10

## 1 健康活動に関する事業

### (1) 高齢者健康づくり実践教室の実施

高齢者が自らの心身の状況を把握し、日常から健康づくりを続けることを目標に、横三ブロックと県央ブロックでの開催を計画していたが、各ブロックで同様の事業を行っており、ブロック事業の見直しの視点から実施しなかった。今後、ブロック事業としての取り組み方法などについて検討していく。

### (2) ニュースポーツ交流の集いの開催

高齢者向けのニュースポーツの普及と健康づくり並びに交流を目的に、事業活動基金を活用している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応も行いながら、計画通り実施された。

#### 西湘ブロック

実施日：令和5年5月24日

会場：酒匂川スポーツ広場

参加者：134人

内容：グラウンドゴルフ

#### 湘南ブロック

実施日：令和5年11月15日

会場：大磯運動公園

参加者：138人

内容：グラウンドゴルフ

#### 横三ブロック

実施日：令和5年9月15日

会場：逗子市池子の森自然公園 陸上競技場

参加者：182人

内容：グラウンドゴルフ

#### 県央ブロック

実施日：令和5年10月19日

会場：愛川町1号公園体育館

参加者：41人

内容：スカットボール グループゲーム

#### 足柄上ブロック

実施日：令和5年11月16日

会場：大井町総合体育館

参加者：86人

内容：室内ペタンク

## 相模原ブロック

実施日：令和5年11月8日

会場：相模原市北公園スポーツ広場

参加者：218人

内容：グラウンドゴルフ

### (3) 健康チャレンジフェアかながわへの参加

健康チャレンジフェアかながわ実行委員会（かながわ健康財団等24団体）が主催する健やかで心豊かな暮らしの実現と健康寿命日本一を目指して、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的に開催。

令和5年11月12日 横浜新都市ビル9F 市民フロア

### (4) 高齢者社会参画・生きがいつくり支援事業（県委託事業）

地域での健康づくり活動、生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動との連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きがいつくりによる介護予防を推進した。

#### 《ゆめクラブ大学》

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者を対象として、湘南、県央、西湘、足柄上、横三、相模原の県下6ブロックで「ゆめクラブ大学」を開催し、健康づくり、健康体操、介護予防に関する講座などを実施した。 879人

#### 《地域支援事業担い手養成研修事業》

老人クラブ会員以外の人も含め、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するために必要な知識や技能を習得するための研修を実施し、社会参加の普及推進を図った。

- ・地域助け合い研修（平塚市） 70人
- ・ICT活用研修（鎌倉市、開成町） 99人
- ・シンポジウム（1回）

オンライン形式で開催し、県外からも参加者を得て実施した。

実施日：令和6年3月12日 会場 神奈川県社会福祉センター

参加者 92人

#### 事例発表

- ① 老人クラブ会員間の交流促進（鎌倉市）
- ② スマホの利用促進中（開成町）
- ③ オンラインでつながる友愛活動（平塚市）

#### 能登半島地震の状況報告（石川県老連）

#### 講演 災害時のネット活用

～スマホの日常使いが“いざ”というときに役立つ～

（有）ブライト・シティ・ジャパン 伊勢田 良一

## 2 生きがい及び文化活動に関する事業

### (1) かながわシニアスポーツフェスタ2023への協賛

(公社) かながわ福祉サービス振興会が主催する高齢者の日頃の健康づくり、スポーツ活動の成果の発表の場としての事業を後援し会員の参加を呼びかけた。

日 程：令和5年4月～6年3月 各種目ごとに県内各地域で実施

主な会場：神奈川県立スポーツセンター ほか

競技種目：ゴルフ、ウォークラリー、軟式野球、ソフトバレーボール、  
インディアカ、ダンス、囲碁、健康マージャンなど

な

なかまを広げて仲良く生きる

## 1 高齢者相互支援事業に関する事業

### (1) 老人クラブ友愛チーム活動事業の推進（県補助事業）

高齢者相互支援事業の一環として、老人クラブ会員を中心に友愛チームを編成し、在宅者等を対象に日常生活の簡単な支援や話し相手となった。

友愛チームの設置：28市町老連 458チーム(内9チームは半期のみ)

(相模原市老連は別に131チーム)

### (2) 友愛活動等支援事業の実施（県補助事業）

多くの高齢者が地域社会の中で生きがいのある生活を送れるよう、友愛サロン、健康に関する講座やパークゴルフなどのスポーツ活動等を県下31市町村老連で開催した。

参加者：4,146人

### (3) 友愛チーム資質向上研修会の開催（県委託事業）

全国三大運動の一つとして位置づけられている友愛チーム活動について、県下5ブロックで、具体的実践活動を行う友愛チーム員の資質向上研修会を実施した。

参加者：378人

## 2 社会参加活動に関する事業

### (1) 地域活動支援事業

#### ア 老人クラブ開放・地域連携モデル事業

市町村老連が行う老人クラブ活動を広く地域の人々に広報するとともに、世代間、地域間の交流を深める事業を支援した。

実施老連：6町市老連

参加者：1,381人

#### イ 地域の安全安心支援事業

子供の見守り活動を行っている単位クラでの登下校を中心とした見守り活動、特殊詐欺被害防止の研修会など、安全安心な地域づくり事業を支援した。

実施老連：4市町老連

参加者：616人

#### ウ 情報機器活用支援事業

市町村老連で進めるパソコン活用のための研修会の開催等を支援した。

実施老連：6市町老連

参加者：1,031人

(2) 老人クラブ社会奉仕の日統一活動の実施

各市町村老連において、美化活動・環境にやさしい活動等を行った。

実施日：令和5年9月20日を中心とした時期

参加者：延べ1,554単位クラブ、延べ21,396人

(3) 共同募金街頭活動

赤い羽根共同募金運動に対して女性会議も協力して街頭募金活動を行った。

実施日：令和5年10月2日

場 所：桜木町駅

参加者：稲田睿子(相模原市)、木村洋子(茅ヶ崎市)

松田冴子(事務局)

が

学習・参加で豊かに生きる

1 市町村老連の強化及び指導者の養成

(1) 県老連役員研修会の開催

実施日：令和5年7月21日(第1回)

会場：かながわ県民センター

研修テーマ：地域との連携～豊かな地域力の発揮について考える

① 「安針台地域の支え合い協議会」横須賀市老連 加藤春樹 会長

② 「コーポ暮らしのネットワークづくり」大和市はなみずきの会 熊谷順子

③ 「老人クラブと行政機関や社会福祉協議会等との関係づくり」南足柄市老連  
鈴木郁男 会長

実施日：令和5年12月19日(第2回)

会 場：神奈川県社会福祉センター

全体テーマ：持続可能な老人クラブ活動について考える

専門部会討議テーマ：

「か」部会 老人クラブ会長二人体制の確立について

「な」部会 友愛チームの構成・役割について

「が」部会 県老連・市町村老連の調査活動について

「わ」部会 魅力あふれるゆめクラブ神奈川の再生について

(2) ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催

単位老人クラブリーダー及び新任会長を中心に、その資質の向上を目的に県下を5ブロックで実施した。

参加者：281人

(3) ゆめクラブ神奈川女性会議研修会の開催

第1回 実施日：令和5年5月23日 会 場：かながわ県民センター

ア) 令和4年度活動報告と令和5年度の重点項目について

イ) 事例報告 コロナ禍の活動

ウ) ブロック別情報交換「女性が単位クラブリーダーを担うことについて」

## 第2回

実施日：令和6年1月19日

会場：かながわ県民センター

- ① 令和5年度の女性会議に係る活動(報告)  
全国老人クラブ大会(秋田県)視察
- ② 研修  
フレイル&頻尿予防講座 花王グループカスタマーケティング(株)
- ③ 募金箱コンテストの案内

### (4) 関東甲信越静岡ブロック研修会等への参加

#### ア 老人クラブリーダー研修会

実施日：令和5年6月20-21日

会場：新潟県新潟市

基調講演：老人クラブの現状と課題(全老連)

パネルディスカッション：明るい豊かな地域づくり

県老連からの参加者：7名

#### イ 活動推進員等研修会

実施日：令和5年7月11日

- 認知症と共に生きる私たち
- これからの地域づくりと老人クラブ

### (5) 全老連研修会等への参加

「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」

実施日：令和5年12月4~5日

県老連から会員2名(座間市・厚木市)が参加した。

「基調報告」と講演

- ① 上手な医療の受け方
- ② オーラルフレイル予防で健康寿命を延ばそう
- ③ 高齢期の運動による健康づくり・介護予防
- ④ 地域で取り組む健康づくりと支え合い
- ⑤ 日常生活事故や災害から身を守る
- ⑥ 高齢期の食生活のあり方

## 2 広報活動事業の実施

### (1) 広報紙『ゆめジャーナル神奈川』の発行

県老連が単位クラブを経由して身近な情報を各クラブ会員に提供することにより県老連と会員との絆を深め、さらには市町村老連との連携強化のため「ゆめジャーナル神奈川」の発行を行った。

発行回数：2回(7月、1月)

発効部数：1万8千部

発行方法：市町村老連を通じて単位クラブ会長へ配布

また、紙面の企画・編集について編集委員会による「ゆめジャーナル神奈川」の評価と編集内容について委員会を開催した。



開催月日	内 容	会 場
5.9.15	1 令和6年新年号(第206号)の企画内容について	かながわ 県民セン ター
6.3.8	1 令和6年7月号(第207号)の企画内容について	かながわ 県民セン ター

(2) ゆめクラブ神奈川ホームページによる広報

県老連の活動内容をより分かりやすくするとともに、広く一般県民に周知するために県老連事業の活動報告、県老連の概要、機関紙「ゆめジャーナル」、新着情報、お役立ち情報、ツイッターなどを掲載し、老人クラブへの理解と参加を発信した。

**3 調査及び情報の収集提供等**

(1) 市町村老連実態調査の実施

市町村老連の組織状況及び活動状況について調査した。

(2) 県老連事業情報の提供と市町村老連行事の収集を行った。



わくわくニコニコ楽しく生きる

**1 役員会の開催**

(1) 正副理事長会議の開催

県老連の運営・企画に関する事項について正副理事長会議を開催した。

開催回数：10回

(2) 理事会の開催

令和4年度事業・決算報告、監事候補者の評議員会への推薦、評議員会の開催、令和6年度全国老人クラブ大会の神奈川県開催、令和6年度事業計画・収支予算、基本財産の取り崩し、魅力あふれるゆめクラブ神奈川再生特別委員会からの答申、評議員会の開催等について協議を行った。

開催回数：3回

(3) 評議員会の開催

令和4年度事業・決算報告、監事・評議員の選任、及び令和6年度事業計画及び収支予算、基本財産の取り崩し、魅力あふれるゆめクラブ神奈川再生特別委員会からの答申、令和6年度全国老人クラブ大会等について協議を行った。

開催回数：2回

(4) 監事会

令和4年度事業及び決算について、監事による監査を行った。

実施日：令和5年5月8日

## 2 老人クラブの組織の強化

### (1) 会員増強運動の推進

各市町村老連において、老人クラブ加入促進月間推進要領による、10月から3月の加入促進期間を中心に、加入促進推進計画に基づいて運動を展開した。

## 3 各種大会、つどい等の開催及び参加

### (1) 神奈川県老人クラブ等功労者のつどいの開催

実施日：令和5年11月28日

会 場：神奈川県民ホール

永年、老人クラブ活動に功績のあった個人及び団体に対して顕彰を行った。  
また、高齢者福祉関係功労者等の知事表彰を併せて行った。

受賞者：知事表彰 5個人・7団体・友愛チーム6団体

理事長表彰 8団体・38個人・友愛チーム17団体、

会員増強特別賞 9団体

### (2) 令和6年新年賀詞交歓会の開催

コロナ禍もあり5年ぶりの開催

開催日：令和6年1月12日

会 場：ホテルザノット横浜

参加者数：81名（来賓10名、友好団体・企業など5名、市町村老連63名）

### (3) 全国老人クラブ大会への参加

実施日：令和5年11月8～9日

会 場：秋田芸術劇場

《全老連会長表彰の受賞者》

1 育成功労者：

① 都道府県老連役員 簗島 肇（大磯町）

② 郡市区町村老連役員 下村 美知子（三浦市）

2 優良老人クラブ連合会：海老名ゆめクラブ連合会

3 優良老人クラブ：ES さくら会（座間市）

## 4 連絡調整事業の実施

### (1) 県下ブロック老連連絡調整会議

県下市町村老連を6ブロックに区分し、幹事老連を事務局として、市町村老連の情報交換と県老連事業の企画のために連絡調整会議を行った。

6ブロック：計35回

### (2) 市町村老連事務局長（担当者）会議の開催

市町村老連、ブロック老連と県老連の連携を密にすることにより、相互の事業が充実することを目的とする会議。

開催日：令和6年3月22日

会 場：かながわ県民センター

議 題：令和5年度補助金等実績報告書の提出について  
令和6年度事業計画及び収支予算について

令和6年度補助金等交付申請書の提出について  
令和6年度重点目標について

- (3) ブロック及び市町村老連が開催する大会等への参加  
ブロック老連や市町村老連が開催する連絡会議、研修会、グラウンド・ゴルフ大会に職員を派遣した。
- (4) 県、政令市老連連絡調整会議  
県老連、横浜市老連及び川崎市老連の三者が、各老連が抱える課題等について、情報提供や意見交換を行った。  
開催日：令和5年12月22日  
場 所：川崎市産業振興会館  
参加者：8名  
議 題：令和6年度の予算、事業計画について  
その他情報提供、意見交換
- (5) 関東甲信越静岡ブロック老人クラブ連絡協議会  
開催日：令和5年10月19日  
会 場：ミューザ川崎  
協議事項  
若手会員を増やす方策について  
新しい老人クラブのあり方  
女性リーダーの登用について
- (6) 全国老人クラブ連合会  
理事長、女性会議代表、事務局長が参加した会議  
令和5年6月19日 評議員会  
令和5年7月26日 事務局長会議  
令和6年2月1,2日 代表者会議  
令和6年3月12日 評議員会
- (7) 神奈川県、神奈川県社協等  
神奈川県の各局が主管する審議会や委員会、協議会・部会等並びに（福）神奈川県社会福祉協議会評議員会等に役職員が構成員として参画した。

## 5 財政基盤の確立及び募金運動の展開

- (1) 財政基盤の確立
- ア ゆめクラブ活性化推進事業募金運動の実施  
期 間：令和5年4月～令和6年3月  
募金額：322,033円
- イ 事業活動基金管理委員会の開催  
事業活動基金の募金活動方法等について委員会を開催した。  
第1回  
開催日：令和5年7月7日

場 所：かながわ県民センター

議 題：令和4年度基金の決算報告、令和5年度基金の活用について  
ゆめクラブ神奈川事業活動基金の推移、令和4年度基金委員会からの提案についての意見交換

## 第2回

開催日：令和5年12月8日

場 所：かながわ県民センター

議 題：令和5年度事業活動基金中間報告、令和6年度予算案、募金箱の活用についての活用について(募金振込用紙の検討、募金箱の作成)  
事業活動基金のあり方についての意見交換

## ウ 県への予算要望活動等

県知事、県議会議長、県議会厚生常任委員会委員長へ予算要望を行った。

- ① 市町村等による持続可能な老人クラブ活動への支援
- ② 県委託・補助事業の見直しと充実
- ③ 友愛チームへの支援の充実
- ④ いきいき100歳からだづくり事業
- ⑤ 全国老人クラブ大会の神奈川県での開催への支援
- ⑥ 神奈川県老人クラブ連合会の運営基盤の強化への支援
- ⑦ 新しい老人クラブのあり方

## 専門部会による活動

理事長から、各副理事長が中心となって、「か」「な」「が」「わ」の部会毎に事業の内容について検討することが求められ、12月の役員研修会では、副理事長が討議テーマを設定し、各部会毎に意見交換が行われた。

この他、「が」部会では以下の活動があった。

### ◇ 「が」部会

広報、調査、研修の3つのグループに分けて事業の検討を進めることとした。

#### ① 広報グループ

県老連からの情報提供の充実等を目的に、ゆめジャーナル神奈川の発行回数や発行部数の増について、ニチコミとの協議を行った。

#### ② 調査グループ

県老連の調査活動について協議し、実態調査報告書に統計グラフを加えるなど改良した。

#### ③ 研修グループ

県老連の研修活動について協議した。

## 魅力あふれるゆめクラブ神奈川再生特別委員会

令和4年度の「わ」部会からの答申を受け、県老連の財政再建等をテーマに特別委員会を設置し、答申書を理事長へ提出した。

委員長 加藤春樹(横須賀市老連)、副委員長 荻山清治(厚木市老連)  
川松賢治(三浦市老連)、中村民代(茅ヶ崎市老連)、石黒雄彦(相模原市老連)、

吉田信男(シニアクラブ松田)、川口勝文(湯河原町老連)  
垣中直哉(神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課長)

- 第1回 令和5年8月17日  
「わ」部会答申の内容、県老連財政状況、市町村老連からの分担金と  
県老連からの助成金の状況
- 第2回 令和5年9月20日  
単位クラブ、市町村老連へのアンケート調査項目、経費削減案
- 第3回 令和5年10月23日  
県老連の財政構造、財政再建対応策、アンケート調査の実施
- 第4回 令和5年11月20日  
収入増につながる自主財源確保のためのアイデア、県への新しい支援事業の  
提案、運営経費の削減、令和5年度再建特別委員会答申の骨子
- 第5回 令和5年12月25日  
提言のまとめ

#### 令和5年度新規・重点事業への取り組み

- (1) 老人クラブの運営と活性化への支援  
自治体の協力や支援について懸念される老連への相談とヒヤリングを実施。  
単位クラブと市町村老連へアンケートを実施し県老連への要望等を把握した。
- (2) 会員増強計画への取り組みの強化  
前年に比べて10%以上の会員増を実現した単位クラブを理事長表彰の対象  
に加え、9クラブが受賞した。
- (3) ICTを活用した仲間づくりの促進  
地域活動支援事業費、地域支援事業担い手養成研修事業(新しい生活様式  
でつながる研修、シンポジウム)等で普及に努めた。
- (4) 関係団体等との連携  
役員研修会で老人クラブの地域との連携による支援活動をテーマに、県内  
各地の取り組み事例を紹介した。
- (5) 女性会員のパワーの発揮  
正副理事長会議に女性会議の代表、副代表の参加を実現した。各ブロック  
での連絡会議にも、各市町村の女性の活動推進員の出席を実現した。  
女性会議では、「女性が単位クラブリーダーを担うことについて」をテー  
マにブロック別情報交換を行った。
- (6) 友愛活動の一層の充実  
神奈川県からの友愛活動等を対象とした活動支援金の活用をすすめ、友愛  
チーム活動の奨励に努めた。
- (7) 県老連の財政再建に向けた見直し  
専門部会の「わ」部会からの答申を受けて、魅力あふれるゆめクラブ神奈  
川再生特別委員会を設置し答申書を提出し、財政再建へのスタートとした。

令和5年度

収 支 決 算 書

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆ め ク ラ ブ 神 奈 川

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

## 目 次

貸借対照表	1
正味財産増減計算書	2
正味財産増減計算書内訳表	4
財務諸表に対する注記	6
附属明細書	9
財産目録	10
貸借対照表(内訳表)	11
監査報告書	12

# 貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	9,146,627	13,664,451	△ 4,517,824
未収金	180,000	84,000	96,000
流動資産合計	9,326,627	13,748,451	△ 4,421,824
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	12,310,000	12,310,000	0
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	22,310,000	22,310,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,308,413	1,936,413	372,000
特定資産合計	2,308,413	1,936,413	372,000
固定資産合計	24,618,413	24,246,413	372,000
資産合計	33,945,040	37,994,864	△ 4,049,824
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	400,615	252,585	148,030
預り金	964,450	3,094,909	△ 2,130,459
賞与引当金	880,000	861,000	19,000
流動負債合計	2,245,065	4,208,494	△ 1,963,429
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,308,413	1,936,413	372,000
固定負債合計	2,308,413	1,936,413	372,000
負債合計	4,553,478	6,144,907	△ 1,591,429
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	28,391,562	30,849,957	△ 2,458,395
(うち基本財産への充当額)	(21,310,000)	(21,310,000)	(0)
正味財産合計	29,391,562	31,849,957	△ 2,458,395
負債及び正味財産合計	33,945,040	37,994,864	△ 4,049,824



# 正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	23,266	25,391	△ 2,125
基本財産受取利息	23,266	25,391	△ 2,125
受取分担金	6,837,000	7,279,000	△ 442,000
受取分担金	6,837,000	7,279,000	△ 442,000
事業収益	654,000	130,000	524,000
機関紙等収益	110,000	130,000	△ 20,000
各種行事開催収益	544,000	0	544,000
受取補助金等	15,209,000	15,075,142	133,858
受取地方公共団体補助金	15,169,000	14,461,000	708,000
受取民間補助金	40,000	614,142	△ 574,142
受取委託費	7,069,000	6,487,000	582,000
受取地方公共団体委託費	7,069,000	6,487,000	582,000
受取寄付金	1,219,003	598,627	620,376
受取寄付金	37,000	19,000	18,000
受取県共募寄付金	120,000	0	120,000
受取事業活動基金	872,003	389,627	482,376
受取賛助会費	190,000	190,000	0
雑収益	969,188	175,861	793,327
受取利息	103	120	△ 17
雑収益	969,085	175,741	793,344
経常収益計	31,980,457	29,771,021	2,209,436
(2) 経常費用			
事業費	29,930,027	30,510,840	△ 580,813
給料手当	9,197,768	9,046,528	151,240
賞与引当金繰入	720,000	704,000	16,000
退職給付費用	315,000	300,000	15,000
法定福利費	1,617,827	1,555,742	62,085
共済掛金	126,297	123,510	2,787
福利厚生費	83,427	86,614	△ 3,187
会議費	73,386	97,402	△ 24,016
旅費交通費	848,435	529,674	318,761
通信運搬費	596,014	597,387	△ 1,373
消耗品費	314,050	554,925	△ 240,875
印刷製本費	642,229	1,687,653	△ 1,045,424
修繕維持費	279,482	442,913	△ 163,431
賃借料	1,834,278	1,285,497	548,781
諸謝金	60,000	160,000	△ 100,000
支払手数料	110,191	122,595	△ 12,404
租税公課	10,000	11,200	△ 1,200
支払負担金	61,000	61,000	0
支払助成金	13,040,643	12,652,500	388,143
委託費	0	491,700	△ 491,700

管理費	4,508,825	4,707,215	△ 198,390
給料手当	2,103,035	2,063,424	39,611
賞与引当金繰入	160,000	157,000	3,000
退職給付費用	57,000	54,000	3,000
法定福利費	365,773	351,902	13,871
共済掛金	26,703	26,490	213
福利厚生費	19,125	21,241	△ 2,116
会議費	5,178	15,611	△ 10,433
旅費交通費	277,060	288,399	△ 11,339
役員費	4,200	74,200	△ 70,000
通信運搬費	79,191	79,454	△ 263
消耗品費	30,345	29,960	385
印刷製本費	3,654	3,654	0
修繕維持費	73,855	112,115	△ 38,260
賃借料	320,404	407,043	△ 86,639
支払手数料	491,922	515,922	△ 24,000
租税公課	880	1,300	△ 420
支払負担金	490,500	505,500	△ 15,000
経常費用計	34,438,852	35,218,055	△ 779,203
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,458,395	△ 5,447,034	2,988,639
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,458,395	△ 5,447,034	2,988,639
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,458,395	△ 5,447,034	2,988,639
一般正味財産期首残高	30,849,957	36,296,991	△ 5,447,034
一般正味財産期末残高	28,391,562	30,849,957	△ 2,458,395
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	29,391,562	31,849,957	△ 2,458,395

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	23,266	0	0	0	23,266
基本財産受取利息	23,266	0	0	0	23,266
受取分担金	3,418,500	0	3,418,500	0	6,837,000
受取分担金	3,418,500	0	3,418,500	0	6,837,000
事業収益	110,000	544,000	0	0	654,000
機関紙等収益	110,000	0	0	0	110,000
各種行事開催収益	0	544,000	0	0	544,000
受取補助金等	14,292,000	0	917,000	0	15,209,000
受取地方公共団体補助金	14,252,000	0	917,000	0	15,169,000
受取民間補助金	40,000	0	0	0	40,000
受取委託費	6,367,000	0	702,000	0	7,069,000
受取地方公共団体委託費	6,367,000	0	702,000	0	7,069,000
受取寄付金	1,182,003	37,000	0	0	1,219,003
受取寄付金	0	37,000	0	0	37,000
受取県共募寄付金	120,000	0	0	0	120,000
受取事業活動基金	872,003	0	0	0	872,003
受取賛助会費	190,000	0	0	0	190,000
雑収益	892,179	0	77,009	0	969,188
受取利息	103	0	0	0	103
雑収益	892,076	0	77,009	0	969,085
経常収益計	26,284,948	581,000	5,114,509	0	31,980,457
(2) 経常費用					
事業費	28,946,035	983,992	0	0	29,930,027
給料手当	8,852,218	345,552	0	0	9,197,768
賞与引当金繰入	691,000	29,000	0	0	720,000
退職給付費用	300,000	15,000	0	0	315,000
法定福利費	1,556,373	61,454	0	0	1,617,827
共済掛金	120,789	5,508	0	0	126,297
福利厚生費	80,199	3,228	0	0	83,427
会議費	73,386	0	0	0	73,386
旅費交通費	848,435	0	0	0	848,435
通信運搬費	596,014	0	0	0	596,014
消耗品費	310,850	3,200	0	0	314,050
印刷製本費	642,229	0	0	0	642,229
修繕維持費	279,482	0	0	0	279,482
賃借料	1,313,778	520,500	0	0	1,834,278
諸謝金	60,000	0	0	0	60,000
支払手数料	109,641	550	0	0	110,191
租税公課	10,000	0	0	0	10,000
支払負担金	61,000	0	0	0	61,000
支払助成金	13,040,643	0	0	0	13,040,643

管理費	0	0	4,508,825	0	4,508,825
給料手当	0	0	2,103,035	0	2,103,035
賞与引当金繰入	0	0	160,000	0	160,000
退職給付費用	0	0	57,000	0	57,000
法定福利費	0	0	365,773	0	365,773
共済掛金	0	0	26,703	0	26,703
福利厚生費	0	0	19,125	0	19,125
会議費	0	0	5,178	0	5,178
旅費交通費	0	0	277,060	0	277,060
役員費	0	0	4,200	0	4,200
通信運搬費	0	0	79,191	0	79,191
消耗品費	0	0	30,345	0	30,345
印刷製本費	0	0	3,654	0	3,654
修繕維持費	0	0	73,855	0	73,855
賃借料	0	0	320,404	0	320,404
支払手数料	0	0	491,922	0	491,922
租税公課	0	0	880	0	880
支払負担金	0	0	490,500	0	490,500
経常費用計	28,946,035	983,992	4,508,825	0	34,438,852
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,661,087	△ 402,992	605,684	0	△ 2,458,395
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,661,087	△ 402,992	605,684	0	△ 2,458,395
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,661,087	△ 402,992	605,684	0	△ 2,458,395
当期一般正味財産増減額	△ 2,661,087	△ 402,992	605,684	0	△ 2,458,395
一般正味財産期首残高	31,157,217	△ 787,343	480,083	0	30,849,957
一般正味財産期末残高	28,496,130	△ 1,190,335	1,085,767	0	28,391,562
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	0	0	0	1,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000	0	0	0	1,000,000
III 正味財産期末残高	29,496,130	△ 1,190,335	1,085,767	0	29,391,562

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・ 満期保有目的の債券  
償却原価法(定額法)によっている。

#### (2) 引当金の評価基準

##### ① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

##### ② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	12,310,000	0	0	12,310,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	22,310,000	0	0	22,310,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,936,413	372,000	0	2,308,413
小 計	1,936,413	372,000	0	2,308,413
合 計	24,246,413	372,000	0	24,618,413

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	12,310,000	(1,000,000)	(11,310,000)	—
投資有価証券	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小 計	22,310,000	(1,000,000)	(21,310,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	2,308,413	—	—	(2,308,413)
小 計	2,308,413	—	—	(2,308,413)
合 計	24,618,413	(1,000,000)	(21,310,000)	(2,308,413)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位: 円)

種 類 及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
神奈川県第229回公募公債	10,000,000	9,965,780	△ 34,220
合 計	10,000,000	9,965,780	△ 34,220

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
事業費補助金	神奈川県	0	15,169,000	15,169,000	0	—
高齢者居場所づくり等支援金	神奈川県	0	40,000	40,000	0	—
合 計		0	15,209,000	15,209,000	0	

## 6. 引当金の明細

(単位: 円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞与引当金	861,000	880,000	861,000	0	880,000
退職給付引当金	1,936,413	372,000	0	0	2,308,413

## 7. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度及び神奈川県福利協会の退職金共済によっている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務 … 2,308,413 円

### (3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用(県老連) … 372,000 円

勤務費用(福利協会) … 153,000 円

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額によっている。

## 8. 資産除去債務に関する事項

当法人は、横浜市神奈川区の本部事務局について神奈川県からの県有財産賃貸借契約書に基づいて使用している。同契約書には退去時における原状回復義務が明記されているが、当該債務に関連する賃貸借期間が明確でなく、財産管理者から原状回復義務が免除される場合もあるため、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記6. に記載をしているので、内容の記載を省略する。



# 財 産 目 録

令和6年 3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	49,651
	普通預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	運転資金として	3,392,163
		横浜銀行 横浜駅前支店	運転資金として(補助金口座)	4,451
		三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	運転資金として(事業活動基金口座)	731,880
	郵便貯金	横浜沢渡郵便局	運転資金として	4,653,231
		横浜駅西口郵便局	運転資金として(事業活動基金口座)	315,261
	未収金	助成金の返金(地域活動支援事業費)	厚木市	30,000
		助成金の返金(地域活動支援事業費)	中井町	30,000
		受取県共同募金	共同募金の配分金、2023年度分	120,000
<b>流動資産合計</b>				<b>9,326,627</b>
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	定期預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の財源として使用している。	12,310,000
	投資有価証券	神奈川県第229回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の財源として使用している。	10,000,000
	特定資産	退職給付引当資産	職員に対するもの	2,308,413
<b>固定資産合計</b>				<b>24,618,413</b>
<b>資産合計</b>				<b>33,945,040</b>
<b>(流動負債)</b>				
	未払金	業者等未払額11件	業者、会計事務所、社会保険料等未払分	400,615
	預り金		所得税、社会保険料等預り分、能登半島地震災害救援拠金	964,450
	賞与引当金	職員	職員3名に対する賞与引当金	880,000
<b>流動負債合計</b>				<b>2,245,065</b>
<b>(固定負債)</b>				
	退職給付引当金	職員	職員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	2,308,413
<b>固定負債合計</b>				<b>2,308,413</b>
<b>負債合計</b>				<b>4,553,478</b>
<b>正味財産</b>				<b>29,391,562</b>

## 貸借対照表内訳表

令和 6年 3月31日現在

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会


(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
<b>1. 流動資産</b>					
現金預金	7,760,782	22,660	1,363,185	0	9,146,627
現金	0	0	49,651	0	49,651
普通預金	4,128,484	0	0	0	4,128,484
郵便貯金	3,632,298	22,660	1,313,534	0	4,968,492
未収金	180,000	0	0	0	180,000
会計・事業配賦	0	△ 1,183,995	1,183,995	0	0
流動資産合計	7,940,782	△ 1,161,335	2,547,180	0	9,326,627
<b>2. 固定資産</b>					
<b>(1) 基本財産</b>					
定期預金	12,310,000	0	0	0	12,310,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	0	10,000,000
基本財産合計	22,310,000	0	0	0	22,310,000
<b>(2) 特定資産</b>					
退職給付引当資産	1,952,645	106,091	249,677	0	2,308,413
特定資産合計	1,952,645	106,091	249,677	0	2,308,413
固定資産合計	24,262,645	106,091	249,677	0	24,618,413
<b>資産合計</b>	32,203,427	△ 1,055,244	2,796,857	0	33,945,040
<b>II 負債の部</b>					
<b>1. 流動負債</b>					
未払金	63,652	0	336,963	0	400,615
預り金	0	0	964,450	0	964,450
賞与引当金	691,000	29,000	160,000	0	880,000
流動負債合計	754,652	29,000	1,461,413	0	2,245,065
<b>2. 固定負債</b>					
退職給付引当金	1,952,645	106,091	249,677	0	2,308,413
固定負債合計	1,952,645	106,091	249,677	0	2,308,413
<b>負債合計</b>	2,707,297	135,091	1,711,090	0	4,553,478
<b>III 正味財産の部</b>					
<b>1. 指定正味財産</b>					
指定正味財産合計	1,000,000	0	0	0	1,000,000
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(0)	(0)	(0)	(1,000,000)
<b>2. 一般正味財産</b>					
(うち基本財産への充当額)	28,496,130	△ 1,190,335	1,085,767	0	28,391,562
(うち基本財産への充当額)	(21,310,000)	(0)	(0)	(0)	(21,310,000)
正味財産合計	29,496,130	△ 1,190,335	1,085,767	0	29,391,562
<b>負債及び正味財産合計</b>	32,203,427	△ 1,055,244	2,796,857	0	33,945,040

# 監査報告書

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会  
理事長 安藤正義 殿

令和 6 年 5 月 7 日  
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

監事 河崎元秀 

私、監事は令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。